

---

# プリンプタウンに飛ばされた海賊たち

歌紅夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

プリンプタウンに飛ばされた海賊たち

### 【Nコード】

N2078BA

### 【作者名】

歌紅夜

### 【あらすじ】

銀河の覇者との決着がついた6人。数日たって、やっとお宝探しにでた。ナビイの占いでは、『異世界の人間に会ってくるべし』と出た。その異世界の人間の正体は…？

## プロローグ

ある穏やかな日のことだった。バスコとサリーがある路上を歩いているとき、ダマラスに遭遇。ダマラスはバスコの前でこう言った。

「バスコ、お前に海賊の抹殺を命じる。」

ダマラスはバスコの首に剣を突きつける。バスコは苦い顔をして、

「嫌だと言ったら？」

…沈黙。サリーはダマラスに襲い掛かる。ダマラスはなぎ払った。

「キーツ…。」

サリーの隣にしゃがんだバスコ。ダマラスはまだ首に剣を突きつけたままだ。そして、ダマラスはこう言った。

「拒否すれば、貴様の命は無い。」

バスコは、どうすることも出来ないと考えた末、

「分かりましたよ、ダマラス様。（チツ）」

小さく舌打ちをした。これが新しい事件の始まりだった。

『レッツお宝ナビゲート！』

ナビィの占い、お宝ナビゲート。宇宙最大のお宝についてナビゲー

トする。ハカセの頭に衝突し、占い結果が出た。

『異世界の人間に会ってくるべし。こんなの出ましたけど?』

いつもの通り変な占い。5人は鎧のほうを見た。

「知りませんよ。今度は異世界ですか…?」

以前の「銀河の覇者に注意するべし」の時には、鎧の方を見て、頼ろうとした。しかし、何も答えられなかった。しかたなく、いつもの通りに町へ出ることにした。

町へ出て行つた6人のうち、ルカ・ハカセ・アム・鎧の4人は普通に街を歩いていた。ヒントになりそうなものが無い。そんななか、目の前に現れたのは…、バスコだった。初めてあつたとき以来、大いなる力に関する以外で会ったことは無い。マーベラスとジョーは今、目の前にいない。

「あれ…?マベちゃんいないの?」

感じとしてはいつものバスコ。そしてバスコは人間体から、怪人体へと変わり、戦闘モードになった。そのときに、ハカセは  
(大いなる力に関係があるのかも)

と確信した。でも、目の前には怪人体のバスコ。戦わないわけにはいかない。

「ゴッゴッカイチェンジ!!」「」

4人で無謀な戦いに挑んだ。バスコは今、レンジャーキーを持っていない。

「サリー。」

サリーを召喚したバスコ。

「皆さん、ここはニンジャで行きましょう!!」

と鎧はシュリケンジャーのキーを。しかしアイムたちは、別のキーを取り出した。それは何かというと…。

「……ゴカイチエンジン!!」「……」

「シュリケンジャー!!」　ゴカイシルバー

「カクレンジャ　!」　その他3人

何かとずれている。やはり合わないときは合わない。鎧はスーパー戦隊を愛する男として、ツッコミたい。でもそんな余裕が無い。

「だって、ニンジャでしょ?」

鎧の気持ちは何1つ分らない3人だった。鎧はもう、どうでも良くなったので、サリーとの戦いを始めた。

「カクレ流、大地がくれの術!」

ハカセイン・ニンジャブラック、かいしんの一撃!

「キイ……」

バスコ、舌打ち。バスコは剣を握った。

「どおおおおりゃ〜!!……」

剣を振りかざす。その時だった。上から銃弾が降ってくる。バスコにその銃弾が当たる。マーベラスとジョーだ。

「あれ、やっと来た？マベちゃん。」

「うるせー！！てめえは黙ってる！！」

バスコは、もう一度剣を振りかざす。剣には凄い力。

「てめえ、何をする気だ。」

「ちょっと消えてもらおうかなって。じゃあ、いってらっしゃい！」

横に剣を振る。すると一気に次元の亀裂が出来、その中に6人は吸い込まれていった。

「おっさん、これでいいの？」

ビルの上に立っていた、ダマラスに聞いた。

「戻って来られないんだろうな？」

「大丈夫。戻ってきた奴1人もいないから。」

バスコは人間体に戻った。サリーをつれ、船へ戻ったバスコ。ダマラスは、アクロス・ギルに報告のため、戻っていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2078ba/>

---

プリンプタウンに飛ばされた海賊たち

2012年1月5日07時46分発行